

Ka帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星
通信システムの技術的条件の検討
(進捗状況)

平成28年12月8日
衛星通信システム委員会
作業班

Ka帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システムの技術的条件

諮問事項

海上等のデジタル・ディバイドの解消に向け、Ka帯を用いた移動体向けブロードバンド衛星通信システムの技術的条件について諮問する。

背景と概要

船舶や航空機等の移動体においても陸上と同等の高速通信のニーズが高まっているが、現在利用可能な移動衛星通信サービスは、最大1Mbps程度の通信速度であり、主にKu帯(12GHz帯/14GHz帯)が用いられていることから通信エリアも既存陸上業務との共用のために陸上からの離隔距離が必要となっている。

一方、2015年11月に開催された国際電気通信連合(ITU)世界無線会議(WRC-15)においてESIM(Earth stations in motion)が定義され、Ka帯の19.7-20.2GHz及び29.5-30.0GHzを移動衛星業務に利用することが合意され、海外では既にこの帯域を用いた移動衛星通信サービスが開始されている。

このため、日本でも早期の導入に向けた制度整備が必要であり、導入されれば、これまで最大1Mbps程度であった船舶向け等の衛星通信サービスが、数十Mbps程度まで高速化が可能となる。

検討状況

- 平成28年6月30日 情報通信審議会に新規諮問
- 平成28年7月22日 第28回衛星通信システム委員会において審議開始
- 平成28年8月26日 第6回作業班
 - ・ Ka帯移動衛星通信システムの世界動向等について
 - ・ Ka帯衛星通信システムの技術的諸元等について
- 平成28年10月25日 第7回作業班
 - ・ 海外における制度化動向等について
 - ・ 周波数共用条件の検討
 - ・ 技術的条件の検討項目の整理
- 平成28年11月21日 第8回作業班
 - ・ 周波数共用条件の詳細検討

